

施工説明書 施工業者様用

「施工業者様へのお願い」

「取扱説明書」を添付しております。お施主様が製品を安全に正しくご使用していただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載しておりますので、必ず、お施主様に手渡ししていただきますようお願いいたします。
(取扱説明書は弊社HP <http://www.daiken.jp/>よりダウンロードも可能です)

警告表示の種類と内容 ■ 弊社製品を長期間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

■ シンボルマークと意味：誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

⚠ 注意 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 警告図記号について：本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

⊘ 「してはいけない」を示します。 **❗** 「必ずおこなっていただくこと」を示します。

安全のためにお守りください ⚠ 注意 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの	⊘ 「してはいけない」を示します。 ❗ 「必ずおこなっていただくこと」を示します。 ● 本製品は一般内装用(上履き用)の床材です。重歩行用(土足用)には使用できません。 ● 本製品はフローア表面を特殊加工しているため、ワックスは掛けしないでください。 ● 本製品は床暖房非対応です。 ● 下地工事、床暖房パネル、二重床の施工は、各部材メーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って使用してください。 ● 床下の換気を十分に行えるように換気口を設けてください。床下が多湿であったり、通風が悪い場合には腐朽の原因となります。 ● ピアノ、大型冷蔵庫等の重量物を置く場合には、下地の補強を十分におこなってください。 ● 施工・加工時には、防じん対策をとってください。必要に応じて防じんマスク、保護手袋、ゴーグルを着用してください。 ● 裏面にお施主様用の「取扱説明書」が記載してありますので、必ずお施主様にお渡しください。 ● 本製品の廃棄は各自自治体の規制に基づき適切な処理をしてください。
---	--

施工方法 ※根太張り工法はできませんのでご注意ください。

(1) 下地工事

● 捨て張り材は、次のいずれかとしてください。

捨て張り材の種類	厚さ	根太の仕様
構造用合板	12mm以上	断面 45×45 mm以上の乾燥材 (間隔 303 mm以下)
パーティクルボード	15mm以上(※1)	
ネダレス針葉樹合板	24mm以上(※2)	—

(※1)ただし、根太間隔が455mmを超える場合は、たわみや床鳴りが生じ易くなるため、20mm以上のパーティクルボードをご使用ください。

(※2)ただし、メーターモジュール(大引き間隔1,000mm)の場合は、たわみや床鳴りが生じ易くなるため、28mm以上のネダレス合板をご使用ください。

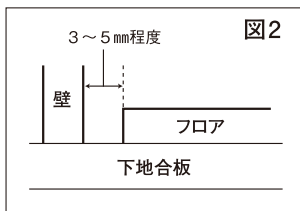
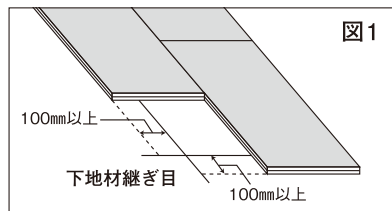
- 捨て張り材は、ビスまたは釘(間隔303mm以下)で根太・大引に固定してください。
- 捨て張り材同士の継ぎ目は、2～3mmの隙間を設けてください。
- 捨て張り材の表面は平滑になるように調整し、継ぎ目の段差がないようにしてください。
- 遮音マット、石こうボード(床下地用高密度タイプ)へ施工する場合は、木質下地へ固定できる長さの釘を使用してください。
- 二重床を施工する場合は、必ず二重床メーカーの施工仕様に従ってください。

(2) 下地施工後の確認

- 下地施工後、異常なたわみや床鳴りがないことを確認してください。
- 下地材が乾いていることを確認してから床材を施工してください。水分を多く含んでいると、シミやふくれの原因となります。(含水率14%以下)
- 下地材表面を清掃してください。異物が残った場合、床鳴りの原因になります。

(3) 割り付け

- 施工前に製品を仮並べし全体の色、柄のバランスを確認してください。
- 下地パネルとフローアの長辺が直行するように施工してください。
- 下地材の継ぎ手とフローアは図1のように100mm以上離れるように割り付けてください。
- 1.5尺または3尺ずらしの施工が標準ですが、隣フロアとの目地が多少ずれることがあります。
フロアを施工される場合、1枚ずつ隣フロアとの位置を確認して施工ください。
目地のズレを避ける場合は尺または2尺ずらしにて施工ください。
- 巾木を使用する場合、壁とフローアの間に必ず3～5mmの隙間をあけてください。(図2)隙間が取れない場合、フローアが突き上げる恐れがありますので、短辺雄実部にも釘打ちしてください。



● 床見切りを使用する場合は、室内壁内寸より床見切ベース分だけ約20mm短くカットしてください。

床見切りは次の製品のご使用をお勧めします。

「床見切 12 T 化粧シート仕様」

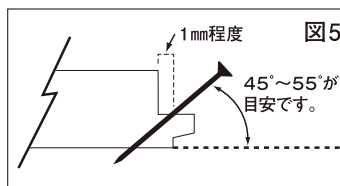
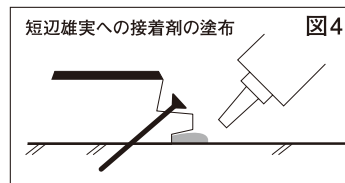
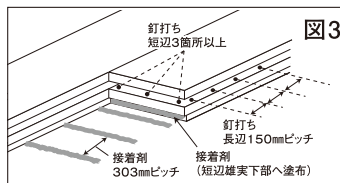
- 壁見切り
- 継ぎ手見切り
- 段差見切り

(4) 施工

- 下地への固定は、次の釘および接着剤を併用してください。その他の釘や接着剤を使用したり、釘のみで固定した場合、床鳴りや目隙の原因となります。

釘	● スクリューネイル 38 mm ● フロアステーブル 38 mm (肩幅 4 mm以上)
接着剤	● 捨て張り工法用ボンド 「DK接着剤ECO」、 「DK接着剤ECO簡単ふきとりタイプ」

- 接着剤はノズル口径を8φにカットし、303mmピッチで線状またはビート状に塗布してください。また、製品短辺雄実部にも必ず塗布してください。(図3、4)
- 釘の打ち込み位置は図3の通りフローア長辺雄実部に150mmピッチ、短辺雄実部に3箇所以上釘打ちしてください。また、釘頭を目立ち難くするために、雄実付け根から約1mm程度あけて釘打ちを行ってください。(図5) (フローリング用ステーブルの場合も同じです。)また釘はフローアに荷重をかけた状態で打ち込んでください。



(5) 養生方法

- 施工後は、傷防止のために必ず養生し、床材表面を保護してください。弊社の養生ボード・専用テープの併用をお勧めします。
 - 布製ガムテープや広巾クラフトテープ等は粘着力が強く、床材表面を損傷する恐れがありますので使用しないでください。
養生テープをはがす場合は、ゆっくりとはがしてください。急激にはがすと床材表面が損傷する恐れがあります。
 - キッチン等、水かかりがある部位にきましては、下記コーティング処理を施すことをおすすめします。クリア色のシリコンコーキング剤をご使用ください。(下記の市販商品をご推奨します)
 - シリコンシーラント (セメダイン) ● シリコン (セキスイ)
 - シリコンコーク (コニシ)
- 床材表面にコーキング剤が付着しないようご注意ください。

ワックス掛けは不要です。

〈納め方〉

本製品をリモデルで使用される場合は、別売の見切り材を下記のように、お使いいただけます。

- 別売の床見切 壁タイプをご使用になられる場合は、床施工前に見切のベース部分を両面テープ(裏面接着済み)とビスで窓際に固定し、床施工後にベースと見切上部を同梱の接着剤で固定し納めてください。
- 別売の床見切 継手タイプ・段差タイプをご使用になられる場合は、床材の見切を入れる側の実を切り落とし、見切部材のベース部分を両面テープ(裏面接着済み)とビスで所定の場所に固定し、床施工後にベースと見切上部を同梱の接着剤で固定し納めてください。
- 各見切りのベース部分と床の間は1～2mm程度の隙間をあけてください。

取扱説明書
お施主様用

警告表示の種類と内容 ■ 人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて、内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

■ シンボルマークと意味：誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。



注意 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 警告図記号について：本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ずおこなっていただくこと」を示します。

安全のためにお守りください



注意

誤った取扱いにより傷害
または家屋・家財などの
損害に結びつくもの



「してはいけない」を示します。



「必ずおこなっていただくこと」
を示します。

- 床暖房、こたつ、電気カーペットは使用しないでください。
 - 本製品は上履き用です。土足では使用しないでください。
 - キャスターの種類や荷重、頻度等の使用状況によっては、凹み傷や表面剥離が生じる場合があります。金属製キャスターや球状キャスターの使用はお控えください。
キッチンの収納棚下等、キャスターの使用頻度が特に高い箇所はキャスターの跡が残る場合があります。
 - 日常のお手入れで、化学雑巾は使用しないでください。化学雑巾の種類によって、含まれる成分で床材の性能が発揮されなくなったり、表面が白化する恐れがあります。
 - 水拭き、スチームモップは、床材を傷めますので使用しないでください。
 - ワックスをかけるとフローアの性能が低下します。ワックスは使用しないでください。
-
- 重量物を置く場合は、敷板等を脚部の下に敷き、重量を分散させてください。
(8kgf/cm²以下)
 - 家具等を引きずりますと、床材表面を損傷する恐れがあります。足先にフェルト等を付けて床材表面を保護してください。
 - 床材を長時間水に濡らしたまま放置しますとシミ、シワ、腐食等の原因となるだけでなく、滑りやすく危険ですので速やかに拭き取ってください。

末永くご使用いただくための注意事項

- 床材表面の汚れは速やかに拭き取ってください。床材表面に汚れが付着すると染みの原因となる恐れがあります。
- お手入れは次の方法でおこなってください。

日常のお手入れをするとき	→ 乾いた雑巾で拭く
汚れがひどいとき	→ 固く絞った雑巾で拭く
上記の方法でも汚れが落ちないとき	→ 床用の洗剤(※)を含ませて固く絞った雑巾で拭く

※使用する場合は、メーカーの使用方法に従ってください。

ワックスは絶対に使用しないでください。

DAIKEN製品の品質保証について

対象製品	ハビアフロア スクエア	(1) 建物の設計・施工に起因する不具合 (2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合 (3) 貼り合わせ時の横溝と目地のずれ、横溝同士のずれ (4) 自然現象・周辺環境等(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合 (5) 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合 (6) 極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合 (7) 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合 (8) 入居者または第三者の不適切な使用または維持管理等に起因する不具合 (9) 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合 (10) 経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合 (11) 用途外に使用された場合の故障および損害(例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等) (12) 犬・猫・鳥などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合 (13) 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合 (14) 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合 (15) 製造時に実用化されていた技術では予想することが不可能な事象に起因する場合 (16) 離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費 (17) その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合 ※1 火災・地震・水害・落雷などの天災地変や公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境
保証事項	外観上の著しい変形・変質(反り、ハガレ、中層ハクリ)が無いこと 弊社指定の施工場所に弊社の施工方法・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態(前提条件)で、上記事項を保証します。なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。 【保証箇所】 基材、表面	
保証期間	施工完了後より2年間 ※保証期間とは、弊社製品の施工完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で処置する期間としております。 保証期間を経過したものは有料となります。	
免責事項	製品の不具合原因が右の(1)～(16)のような場合には、保証期間内であっても「有料扱い」になります。	

製品を末永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録サービス

ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!

登録はこちらから

<http://www.daiken.jp/user/>

ユーザー登録いただいた方には、下記の特典が受けられます

特典 パーツショップ製品の10%割引

ご登録いただくと、DAIKENのパーツショップ取扱製品を通常価格から10%割引での特別価格でご購入いただけます。

大建工業株式会社

<http://www.daiken.jp/>

お問合せは

お客様センター…………… ☎ 0120-787-505

200703-NJ-33